

品質カイゼン室の 花のソコが知りたい！ キク（輪ギク）編

農林水産省花き生産出荷統計平成 27 年度によると

日本国内での輪ギクの出荷量は約 8 億 6 千万本！

お盆やお彼岸と、仏様に献花するイメージが強い輪ギク。
様々な種類の品種が開発され、スタンド花としても活躍して
いる場面もよく目にします。

日本文化とも大きく関わりのある輪ギク。
今回は輪ギクのソコ！を見てみたいと思います。



— キク(輪ギク)のポイント —

- ① **品種改良・光周性**を利用した技術開発のため可能になった
キクの周年栽培
- ② 輪ギクへの仕立てのために芽かき作業は労力の **25% !**
- ③ なぜ品薄？2016年 10 月のキク争奪戦



基本データ

学名 : *Crysanthemum*

学名である *Crysanthemum* は
ギリシャ語で「金の花」という意味を持ちます。

分類 : キク科 キク属

原産地 : 東アジア



品種改良

東アジア原産のキクですが、欧米へ渡来し品種改良が重ねられ、日本に逆輸入されます。



しかし、切花として導入した大正初期のキクには大きな問題が2つありました。

問題点

- ① 茎葉のバランスが十分でなく、「いけばな」には適さない
- ② **耐湿性**が弱く、日本の気候に合わない



この問題を解決すべく、日本のキク育種家たちによる品種改良が施されました。
現在の品種は

茎：剛直 節間：短い
葉柄：短い 葉：立ち葉

と優れた**茎葉形質**

を持っています。

右の写真は【池坊】の作品です。立ち姿が美しいですね。
この美しい作品を見られるのも先人の育種家たちの努力の結晶なのです。



池坊 生花

キクの需要期はお盆やお彼岸などの高温多湿の夏の時期、湿気の少ないヨーロッパで開発された品種では露地栽培するのが難しい状況でした。そのため**耐湿性**を獲得する育種がされてきたのです。

輪ギク栽培方法

輪ギクの栽培方法として電照やシェードなど光を用いての栽培が行われています。
これは今から約 100 年前、1920 年代に植物が日長時間に反応する性質（光周性）が発見されたことがきっかけで開発されました。



シェードによる短日処理にて開花を**早**める
周年栽培



電照による暗期中断で開花を**遅**らせる



キクの到花週数は**6～15 週**とされています。

品種や先ほど伝えたシェード、電照などの技術で開花日数の調整が可能となっています。

下記の表は電照での栽培歴を一例です。

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
電照	電照開始	電照打ち切り			電照開始	電照打ち切り	再電照			電照打ち切り		
直挿し	直挿し				直挿し							土壌消毒
品種		岩の白扇(夏秋キク)		収穫	神馬(秋ギク)			収穫		神馬(秋ギク) 2度切り		収穫

図のように 2 度切りを行う場合、芽が 2～5 cm になったのち、ジベレリン 50ppm を処理し、栄養成長 45～60 日、必要な草丈を得たら電照を止め、3～4 週間かけて開花、収穫します。

芽かき

葉が分化した根元から花芽が出てきます。

1 本キクに 10 個以上芽が出るため、輪ギクに仕立てるためにひとつひとつ芽を摘み取ります。

これを^{てきらい}**摘蓄作業**といいます。



生長点の周り 3 輪ぐらい余分についているツボミをすべて取り除きます。

中心のひとつを残してあと 20 日間暖かく見守れば収穫です！

この労力は輪ギクづくりの **25%** の労力を費やします。。。

芽かきの労力を減らしたい・・・その気持ちで作出された「芽なしギク」が

岩の白扇・新神



岩の白扇

「芽なしギク」

突然変異によって各節から脇芽が伸びなくなったキクのことを指します。

育種家が無側枝性タイプのキクを見出し育種を進めた結果、誕生することが出来ました。

左の図にある岩の白扇が最初の芽なしギクです。

てきらい
摘蕾作業の軽減に繋がると考えられています。

日々、品種の開発がされているのですね！



2016年キク争奪戦

2016年10月キクの品薄と各市場のキク争奪戦がうかがえますがなぜなのでしょう。

5月～6月は**暖地**から**高冷地**にかけての産地の**バトンタッチ**時期

10月～11月は**高冷地**から**暖地**にかけての産地の**バトンタッチ**時期となっています。

また、品種の入れ替わり（夏秋ギクから秋ギクへ）の時期ともなっています。

産地・品種の入れ替わり時期なので10月は比較的品薄になりやすい時期となっています。

特に今年の9月は台風、秋雨前線による**長雨・大雨**が全国的にも印象的でしたね。

日照不足による成長の遅れも今回の品薄な状況に大きな影響を与えたと考えられます。

輪ギク 管理方法

2015年度当社クレーム集計数（輪ギク類でのクレーム数より）算出すると葉における問題が多いのが現状です。



輪ギクは2ページ目でもお伝えしましたが、

美しい **茎葉形質** が特徴的です。

輪ギクのもつ茎葉形質の良さを生かすためにもお買い上げの際にはすぐに段ボールから開け、水揚げすることをおすすめします。

蒸れによって葉が悪くなるのを防ぎましょう！

また、おすすめの水揚げ方法として手折りや38度のぬるま湯での湯上げがあります。

詳しくは花のソコが知りたい！Vol.36 スプレーマム編をご参照ください。

<http://www.otakaki.co.jp/s/qc/life/20160929.pdf>

日持ちを向上させるには

生け水は**切花栄養剤**の使用がおすすめ！

産地での切り前の蕾径はちょうど 100 円玉程度
大きく・美しく・咲かせるには
切花栄養剤（糖・抗菌剤）の存在が欠かせません！



下の図をご覧ください。



生け水： 水道水



生け水： 切花栄養剤

左は生け水に水道水、右は生け水に切花栄養剤を用いたもので、どちらも日持ち試験 20 日目のもの
切花栄養剤は花卉の先端まで水が揚がり、美しく咲いています。同じ品種には見えませんね！
花のポテンシャルを最大限に生かして楽しんで頂くためにも、切花栄養剤の使用をおすすめします！

主な生産産地

愛知 沖縄 福岡
長野 大分 静岡

世界3大切花としてバラ・カーネーションと並ぶキク
特に輪ギクは日本での生産が一番多く、日本を代表する花です。
ポップな印象をもつ染ギクもあります。
さまざまな顔を見せる輪ギクをぜひお楽しみください。

参考資料

農林水産省 花き生産出荷統計 平成 27 年度

柴田道夫 著 「花の品種改良の日本史」

今井英雄 著 「花の園芸事典」

宇田明 桐生進 著「花屋さんが知っておきたい花の小事典」

当社クレーム集計 2015 年度



株) 大田花き
品質カイゼン室

